

授業科目名	【Gカリキュラム】 インターネットとビジネス ※本年度は開講せず 【EFカリキュラム】 インターネットとビジネス	その他参照	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目／【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・情報）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・情報）					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・情報選択）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・情報選択）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	情報保護とインターネットのビジネス利用	担当者	宝剣 純一郎			
授業概要	<p>【概要】 インターネット上では、情報を保護しないと誰でもが自由にアクセスできてしまいます。個人情報の漏えいなどが社会問題となり、情報を保護するための法律が制定され、また対策も進んでいます。本科目では、情報保護のための対策や法律について技術的な観点で解説します。さらに、情報保護対策をふまえて企業などの組織がビジネスの場で、インターネットをどのように活用しているのかを紹介します。</p> <p>【到達目標】 企業での情報保護対策やセキュリティ対策の重要性を理解して、コンピュータやネットワークが企業などの組織でどのように利用されているのか、あるいは仕事のあり方がどのように変化しているのかを理解することが目標です。</p>					
履修条件	「ネットワーク基礎Ⅰ」、「ネットワーク基礎Ⅱ」および「情報セキュリティ」が履修済み、あるいは同等の知識を持っていること					
教科書・参考書	<p>【教科書】 矢沢久雄監修「ITパスポート合格講座 改訂第2版」日経BP社(2016)</p> <p>【参考書】 必要に応じて紹介する</p>					
授業回数	授業内容					
1	プライバシーとネットワーク上のエチケット 予習：私たちのネットワーク利用で留意すべき点を調べる	復習：プライバシー侵害、ネットワーク利用のマナー				
2	プロバイダ責任制限法 予習：プロバイダ責任制限法を検索	復習：個人のブログやSNS記事の管理運用方針				
3	個人情報保護法 予習：テキスト44ページ	復習：個人情報保護法の定める情報、個人情報保護法の改正				
4	個人情報保護のための通商産業省策定ガイドライン 予習：テキスト248～249ページ	復習：組織的、人的、物理的、技術的安全管理措置				
5	住民基本台帳ネットワークと共通番号制度（マイナンバー） 予習：自分のマイナンバーを確認	復習：住民基本台帳ネットワーク、共通番号（マイナンバー）制度				
6	情報漏えいとその原因 予習：情報漏えいの例を検索	復習：日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）の調査結果				
7	情報漏えい対策 予習：なぜ情報漏えいが発生するのかを考える	復習：人間の“ついうっかり”を防ぐ対策、組織内教育				
8	ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム） 予習：テキスト252～253ページ	復習：組織のセキュリティ・ポリシーとプライバシー・ポリシー、国際規格／日本工業規格				
9	個人情報のビジネスへの活用 予習：検索サイトの個人情報利用例を調べる	復習：Google社のプライバシー・ポリシー、個人情報保護法の改正				
10	電子マネー 予習：私たちが日常利用している電子マネーを調べる	復習：非接触型ICカード、仮想通貨、QR決済				
11	知的財産権の技術的側面 予習：テキスト38～39ページ	復習：OSS（オープンソースソフトウェア）、著作権法の改正、CC（クリエイティブコモンズ）				
12	インターネット広告その1 予習：私たちが日常目にするインターネット広告を調べる	復習：バナー広告、スポンサーシップ広告、検索連動型広告、アフィリエイト				
13	インターネット広告その2 予習：新しいタイプのインターネット広告を調べる	復習：行動ターゲティング広告、位置連動型広告、RTB、リワード広告				
14	クラウドコンピューティングサービス 予習：テキスト68ページ	復習：IaaS、PaaS、SaaSの特徴とその例、パブリック・クラウドとプライベート・クラウド				
15	電子政府・電子自治体 予習：官公庁へのオンライン申請可能例を検索	復習：e-Japan戦略、早稲田大学・国連UNDESAの電子政府ランキング調査				
評価方法	毎回授業の最後に行う確認テスト(60%)、授業中に課した課題(20%)、授業への参加態度(20%)で評価します。					
評価基準	上記授業内容について、よく理解し、適切に課題などを完成させた者にはその程度に応じて「S」または「A」、理解してはいるが、一部理解に不十分な箇所がある者については、その程度に応じて「B」または「C」とします。授業内容の理解自体が不十分な者については、その程度に応じて「D」または「E」とします。なお、確認テスト未提出など、評価不能の場合には「F」とする。					
その他	※G 別：法【-】 法【-】 情【選択必修(コ)】 / EF 別：法【-】 法【-】 経【選択必修(α)】					